

基本 目標	施策・事業内容										重要業績評価指標 (KPI)										
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績						創生本部 評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度		
1 雇用の 創出と 働きや すい環 境基盤 づくり	工業用空地への 企業誘致	1 企業振興条例等に基づく 奨励措置	産業環境課	現行の企業振興条例 により実施した。	企業振興条例の奨励 拡充を検討、改正内 容の議会説明を実施 した。	企業振興条例の一部 改正を行った。	企業振興条例による 工場等誘致奨励措 置の指定1件を行った。	企業振興条例による 工場等誘致奨励措 置の指定1件を行った。	企業振興条例による 工場等誘致奨励措 置の指定1件を行った。	B	1 工業用空地への企業 誘致数【累計】	1社	4社	1社	2社	2社	3社	3社	3社	未達成 (1社見込み有)	B
		2 ホームページ等の活用 による情報発信	産業環境課	課内にて企業誘致に 係る情報公開の施策 について検討した。	県との情報共有及び 誘致活動による情報 発信により実施。 ホームページは未活 用とした。	県との情報共有及び 誘致活動による情報 発信により実施。 ホームページは未活 用とした。	県との情報共有及び 誘致活動による情報 発信により実施。 ホームページは未活 用とした。	県への情報提供と、 共同での誘致活動を 行った。ホームペー ジは未活用とした。	県への情報提供と、 共同での誘致活動の 調整を行った。ホー ムページは未活用と した。												
	地域産業の活 性化	1 創業促進補助制度(空 き店舗)等活用支援	産業環境課	他市町村の事例を収 集し、事業内容を検 討した。	県中小企業創業資金 等利用する者に対す る利子補給金を検討 した。	県中小企業創業資金 等利用する者に対す る要綱案を作成し た。	県中小企業創業資金 等利用する者に対す る要綱案の見直しを 行った。	町独自の創業支援の 補助制度について素 案を作成した。	富加町創業支援事業 補助金交付要綱を制 定し、R3年度から施 行する。	A	1 支援を活用した企業 数【累計】	-	12社	0社	0社	3社(者)	9社(者)	15社(者)	17社(者)	達成済 【理想値:17社】も達成済	A
		2 町内在住者の町内企 業就業支援	産業環境課	ハローワークの求人 情報をもとに検討し た。	ハローワークの求人 情報を随時ホーム ページに掲載するこ ととした。	ハローワークの求人 情報を随時ホーム ページに掲載した。	ハローワークの求人 情報を随時ホーム ページに掲載した。	ハローワークの求人 情報を随時ホーム ページに掲載した。	ハローワークの求人 情報を随時ホーム ページに掲載した。												
		3 町内企業PRパンフレ ット等作成助成	産業環境課	他市町村の事例収集 を行った。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページにて企 業紹介を掲載してい る。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページにて企 業紹介を掲載してい る。 町広報誌に事業所紹 介	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページにて企 業紹介を掲載してい る。 町広報誌に事業所紹 介	商工会ホームページ 運営を支援して、町 内企業の紹介を掲載 しているが、パンフ レットは作成しなかつ た。	商工会ホームページ 運営を支援して、町 内企業の紹介を掲載 している。パンフレ ットは作成しなかつ た。												
		4 小口融資条例に基づく 奨励	産業環境課	小口融資条例に基づ き、商工会を窓口と して町内の中小企業へ 制度周知を行った。	小口融資条例に基づ き、商工会を窓口と して町内の中小企業へ 制度周知を行った。	小口融資条例の一部 改正、及び商工会を 窓口として町内の事 業者へ制度周知を 行った。	商工会を窓口として 町内の事業者へ制度 周知を行った。	商工会を窓口として 町内の事業者へ制度 周知を行った。	商工会を窓口として 町内の事業者へ制度 周知を行った。												
		5 創業支援資金等を活用 する中小企業への奨励	産業環境課	国県等が実施してい る創業支援に関する 事業の情報収集を行 った。	県中小企業創業資金 等利用する者に対す る利子補給金を検討 した。	中小企業・小規模企 業振興基本条例、小 規模企業者利子補給 金交付規則を制定し を行った。	小規模企業者利子補 給金交付規則により 、新規6件の支援を 行った。	小規模企業者利子補 給金交付規則により 、新規6件を承認 し、13件の利子補給 を行った。	小規模企業者利子補 給金交付規則により 、新規2件を承認 し、8件の利子補給を 行った。												
		6 町内企業情報発信サイ トの構築	産業環境課	商工会ホームページ の内容確認を実施し た。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページにて企 業紹介を掲載してい く。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページをリ ニューアルして会員 (事業者)紹介を掲載 している。	商工業振興対策補助 金等を活用した商工 会ホームページのよ り、町内企業の紹介 を掲載している。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページ運営を 支援して、町内企業 の紹介を掲載してい る。	商工業振興対策補助 金等により、商工会 ホームページ運営を 支援して、町内企業 の紹介を掲載してい る。	A	2 町内企業情報発信サイ トへの年間アクセス 数 (ユーザー数)	-	600回	0回	0回	5,341回 (参考数 値)	579回	870回 (R1.10月 ~R2.3)	1691	達成済 【理想値:900回】も達成済	A
	就農等への支 援	1 国県就農支援の対 象にならない就農者等 への支援	産業環境課	新規就農者の状況把 握し、国県の制度に よる新規就農支援を 行った他、他市町村 の独自制度について 研究した。	国県の制度による新 規就農支援を引き続 き行った。又、林業就 業支援について検討 した。	新規就農者の状況を 把握し、国県の制度 による新規就農支援 を行った。	新規就農者の状況を 把握し、国県の制度 による新規就農支援 を行った。	新規就農者の状況を 把握し、国県の制度 による新規就農支援 を行った。	新規就農者の状況を 把握し、国県の制度 による新規就農支援 を行った。	A	1 就農支援金の利用者 数【累計】	-	7件	3件	4件	5件	6件	6件	7件	達成済	A
		2 認定農業者の増加策	産業環境課	農業振興支援策の見 直しを行った他、認 定新規就農者等2名 を認定した。	制度の周知を継続し て行い、新たに認定 3名、新規2名を認定 した。	制度の周知を継続し て行い、新たに新規 就農者1名を認定し た。	制度の周知を継続し て行い、就農施設へ の助成を行った。	制度の周知を継続し て行い、新たに認定 新規就農者1名、認 定農業者1を認定し た。	制度の周知を継続し て行い、新たに認定 新規就農者1名、認 定農業者1を認定し た。												
		3 施設園芸への助成	産業環境課	農業振興支援策の見 直しを行った。	見直しの結果、農業 用資材補助を制度化 できた。	農業用資材補助制度 の周知及び助成を行 った。	農業用資材補助制度 の周知及び助成を行 い、一部見直しを行 なった。	農業用資材補助制度 により、ビニールハウ ス新築0件・更新2 件、農業用資材購入 4件への補助金を交 付した。	農業用資材補助制度 により、ビニールハウ ス新築2件、農業用 資材購入4件への補 助金を交付した。	A	2 認定農業者数	11人	20人	13人	18人	19人	19人	21人	23人	達成済	A

担当課及び富加町まち・ひと・しごと創生本部評価

富加町総合計画審議会評価

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

基本 目標	施策・事業内容								重要業績評価指標(KPI)													
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績					創生本 部評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価		
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度	基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度	
2 人 を 呼 び 込 む 住 み や す い ま ち づ く り	1	住宅定住促進奨励金の創設	総務課	H27.12.1交付要綱を創設した。PR看板、現地案内看板を設置した。町ホームページに掲載し、情報発信した。	町ホームページをはじめ、移住定住関連のPRにおいて情報発信した。また、町内の不動産業者、建設業者等を通じてPRした。新築世帯への奨励金を6件交付した。	町ホームページをはじめ、移住定住関連のPRにおいて情報発信した。また、町内の不動産業者、建設業者等を通じてPRした。新築世帯への奨励金を28件交付した。	町ホームページをはじめ、移住定住関連のPRにおいて情報発信した。また、町内の不動産業者、建設業者等を通じてPRした。新築世帯への奨励金を33件交付した。	町ホームページをはじめ、移住定住関連のPRにおいて情報発信した。また、町内の不動産業者、建設業者等を通じてPRした。新築世帯への奨励金を39件交付した。	町ホームページをはじめ、移住定住関連のPRにおいて情報発信した。また、町内の不動産業者、建設業者等を通じてPRした。新築世帯への奨励金を33件交付した。	B	1	移住定住に関する相談数	5件	20件	15件	19件	19件	15件	17件	17件	未達成	B
	2	定住支援ホームページ、リーフレット等の作成による情報発信	総務課	とみかのちようどいい暮らしを提案する「J USTomika Life (ジャストミカライフ)」をキーワードとし、次の事業を展開した。 ・移住定住に特化した「移住・定住応援サイト」の構築 ・リーフレットの作成1万部 ・名古屋圏等に向けた生活情報誌(咲楽1月号)によるまちの紹介 91.8万部 ・看板設置5ヶ所 ・まちのPR動画の制作、テレビ番組放送 ・職員周知用缶バッジの作成200個 ・広報、メール等による周知 ・東京の移住交流センター相談員との情報交換	既存リーフレットによるPRのほか、「移住・定住応援サイト」を更新し、本町への移住者による本町の魅力を紹介するなど情報発信した。	新たな移住家庭のインタビューを行い、「移住・定住応援サイト」とリーフレットをリニューアルしてPRした。	新たな移住家庭のインタビューを行い、平成30年12月に創設した空き家バンクのコーナーを掲載した。	新たな移住家庭のインタビューを行った。オリジナルイラスト「TOMIKATOWN」のグッズを作成してPRした。	これまで移住家庭のインタビューで登場した家庭に、その後の富加暮らしについて、インタビューを行って、掲載した。	B	2	町有分譲地の売却数【累計】	-	19区画	0件	10区画	13区画	15区画	17区画	17区画	未達成	B
	1	観光ガイドサイトの構築、Wi-Fi整備による情報発信	産業環境課	スマートフォン用観光案内アプリケーションのサイトを構築し、富加駅や道の駅など町内5箇所にWi-Fiを整備した。	アプリサイトの年間接続数が2,200件あり、有効活用されている。	Wi-Fiアクセス数が年間4,827件、観光アプリサイトの年間接続数が4,696件あり、有効活用されている。	Wi-Fiアクセス数が年間4,570件、観光アプリサイトの年間接続数が6,268件あり、引き続き有効活用されている。	Wi-Fiアクセス数が年間5,223件、観光アプリサイトの年間接続数が10,503件であった。	Wi-Fiアクセス数が年間8,622件、観光アプリサイトの年間接続数が10,063件であった。	B	1	観光拠点である「道の駅」の年間来場者数	9.6万人	11万人	107,823人	108,702人	101,762人	95,215人	86,459人	77,336人	未達成	B
	1	住宅用新エネルギーシステム設置に対する補助	産業環境課	これまで助成を行ってきた太陽光発電システムの要綱を改正し、H28.4から新エネルギーシステムとして燃料電池システム、蓄電池システムも補助対象とした。	改正追加した新システム補助に対しても1件の申請があり、環境対策、定住対策に寄与できている。	制度を運用しやすくするため、要綱の一部を改正し、周知を図った。11件の設置件数のうち8件が新築住宅への設置であることから、定住対策に寄与できている。	制度の周知を図り、12名16件の設置補助を行った。うち3件が転入者の新築住宅への設置であることから、定住対策に寄与できている。	太陽光発電、蓄電池システムあわせて13件の補助金を交付した。うち新築住宅にかかるものは7件であった。	太陽光発電、蓄電池システムあわせて6件の補助金を交付した。うち新築住宅にかかるものは3件であった。	A	1	設置件数【累計】	19件	60件	10件	21件	32件	48件	61件	67件	達成済【理想値:65件】も達成済	A

基本 目標	施策・事業内容										重要業績評価指標(KPI)											
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績						創生本 部評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価	
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			
2 人を呼び込む住みやすいまちづくり	みのかも定住自立圏の連携による定住促進	1 取り組み事業の実施	総務課 産業環境課 教育課	みのかも定住自立圏事業の重点事業として「おんさいEXPO事業」、美濃加茂市、坂祝町との連携による「歴史PRマンガ事業」の2事業を進めている。また、圏域の連携継続事業では、「顧問弁護士の活用」など8事業を行った。 (おんさいEXPO)平成28年度に第1回おんさいEXPOを開催するため、実行委員会を立ち上げイベント開催に向けた準備を行った。 (歴史PRマンガ)資料調査8件、天理大学図書館、京都大学図書館、岡山大学図書館、東京大学図書館、国立国会図書館、岸家文書、龍福寺文書、歴史PRマンガ講演会	みのかも定住自立圏事業の重点事業として次の2事業に取り組んだほか、連携継続事業として「顧問弁護士の活用」など8事業を行った。 (おんさいEXPO)平成28年10月30日に開催することができ、37チームが参加、1万人の来場者となった。初回としては、反省点もあるが、おおむね成功であった。 (歴史PRマンガ)・歴史PRマンガ刊行一般販売1,600部を完了した。 ・歴史PRマンガを講談化して一般上演し230名の参加を得た。 ・3市町の小中学生に配布 ・マンガ刊行記念講演会開催(H29.3 東大史料編纂所金子拓教授)	みのかも定住自立圏事業の重点事業として次の2事業に取り組んだほか、連携継続事業として8事業を行った。 (おんさいEXPO)平成29年10月29日に40チームの参加を見込んで開催する予定であったが、台風による悪天候のため中止した。 (歴史PRマンガ)・歴史PRマンガ刊行一般販売1,600部を完了した。 ・歴史PRマンガを講談化して一般上演し230名の参加を得た。 ・3市町の小中学生に配布 ・マンガ刊行記念講演会開催(H29.3 東大史料編纂所金子拓教授)	みのかも定住自立圏事業の重点事業として次の2事業に取り組んだほか、連携継続事業として8事業を行った。 (おんさいEXPO)平成30年10月28日に開催し両会場で39チームが参加、1万1千人が来場した。 (歴史PRマンガ)・小学校3校での巡回講演ワークショップを開始。 ・小学校3校での巡回講演ワークショップを開催した。 ・「夕雲の城外伝猿啄城の春」刊行一般販売を開始。 (県内133名、県外7名が参加) ・「夕雲の城フェス」の開催を3月に予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。(2月末までの申込者は315名であった)	みのかも定住自立圏事業の重点事業として次の2事業に取り組んだほか、連携継続事業として8事業を行った。 (おんさいEXPO)令和元年10月27日に開催し両会場で37チームが参加、9千人が来場した。 (歴史PRマンガ)・小学校3校での巡回講演ワークショップを開始。 ・「夕雲の城外伝猿啄城の春」講演会を開催した。 (県内133名、県外7名が参加) ・「夕雲の城フェス」の開催を3月に予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。(2月末までの申込者は315名であった)	1年間延長したみのかも定住自立圏事業第2次共生ビジョンの重点事業として次の1事業に取り組んだほか、連携継続事業として「男女共同参画推進事業」など7事業を行った。 (歴史PRマンガ)・YouTubeのライブ配信による『おうちde歴史イベント夕雲の城』で以下のイベントを開催。 ①開高校地域研究部による研究発表会「夕雲の城ツアー」 ②基調講演「後藤藤氏と織田氏との美濃国攻防史」 ③3市町首長と作者渡辺氏によるトークセッション ④歴史講演	A	1	連携による取組事業数	-	2事業	2事業	2事業	2事業	2事業	2事業	1事業	達成済 (第2次共生ビジョンの重点事業実施期間はR元年度までであるが、新型コロナウイルス対策のため中止となった歴史PRマンガ事業のイベントをR2年度に実施した。2事業を達成することは制度上不可能であり、H27年度からR元年度までの実績を考慮して達成済みとした。)	A
	地域の歴史資源を活用した地域活性化推進事業	1 地域の歴史資源を活用した地域活性化推進事業	教育課	平成28年度進捗管理分から総合戦略の施策に追加	・団体の設立(富加町半布里文化遺産活用協議会「半布里コミッティ」) ・町出身児童文学者木村小舟の業績をまとめたマンガ付き書籍の刊行 ・歴史遺産グッズの開発 ・歴史文化財を知るイベントの開催	半布里コミッティとして富加町だけでなく他市町の歴史イベント会場等で「まちの歴史PRブース」を設置(計3回)し、歴史グッズを活用した活動を実施した。 町内のギャラリーを巡る「とみかまるごと博物館」事業、木村小舟の刊行本を利用して、小学校でのPR活動を実施。	半布里コミッティとして他市町の歴史イベント会場等で「まちの歴史PRブース」を設置(計2回)し、歴史グッズを活用した活動を実施。 「とみかまるごと博物館」事業、木村小舟の刊行本を利用して、小学校でのPR活動を実施。 ガイド養成講座を開講し、16名が認定を受けた。	半布里コミッティとして他市町の歴史イベント会場等で「まちの歴史PRブース」を設置(計2回)し、歴史グッズを活用した活動を実施。 「とみかまるごと博物館」事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。木村小舟の刊行本を活用した小学校でのPR活動を実施。 ガイド登録者による模擬ガイド研修と、資料館団体来館者へのガイド体験を実施。	半布里コミッティと協働して歴史PRグッズを開発し記者発表等でPRした。木村小舟の刊行本を活用した小学校でのPR活動を実施。コロナ禍に対応した事業として全国の博物館約200館と連携した「おうちミュージアム」を町HPに公開し、歴史マンガPVや古墳クラフトなどを公開した。半布里コミッティ(ガイド部門)で歴史PR動画を制作。YouTubeチャンネルを開設し公開し	B	1	滞在人口率(休日)	0.98倍	1.00倍以上	/	0.97倍	0.95倍	0.98倍	0.98倍	0.92倍	未達成	B
2	観光拠点である「道の駅」の年間来場者数	9.6万人	11万人	/	108,702人	101,762	95,215	86,459	77,336	未達成												
3	まちの魅力ガイド	-	10人	/	10人	8人	16人	16人	12人	達成済												
4	富加町郷土資料館の年間来場者数	2,053人	2,500人	/	2,045人	2,106人	1,950人	1,761人	686人	未達成												

担当課及び富加町まち・ひと・しごと創生本部評価

富加町総合計画審議会評価

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

基本 目標	施策・事業内容									重要業績評価指標 (KPI)												
	施 策	具体的な事業	担当課	事業実績						創生本 部評価	指 標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価	
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			
3 若い世代の結婚や子育てを支援する環境づくり	結婚支援	1 結婚相談所の開設による結婚相談	総務課	27年5月、総務課内に富加町結婚相談所を開設し、相談員1名を配置した。県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援した。	引き続き、相談員1名を配置し、県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援した。また、毎月第3土曜日に事前予約制の相談日を設けた。	引き続き、相談員1名を配置し、県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援した。また、毎月第3土曜日に事前予約制の相談日を設けた。	今年度より富加町社会福祉協議会に委託し、相談員1名を配置し、県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援、毎月第3土曜日の相談、相談所の周知などを行った。	引き続き富加町社会福祉協議会に委託し、相談員1名を配置し、県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援、毎月第3土曜日の相談、相談所の周知などを行った。町民1人が相談所を通じて成婚に至った。	引き続き富加町社会福祉協議会に委託し、相談員1名を配置し、県の広域支援ネットワークを活用したマッチングやコンサボぎふによる婚活イベント情報を提供し、結婚活動を支援、毎月第3土曜日の相談、相談所の周知などを行った。現在町内在住者が交際中。	A	1	結婚に関する相談数	-	160件	22件	18件	27件	143件	218件	222件	達成済 【理想値:250件】 は未達成	A
	子育て支援拠点の整備	1 子育て支援拠点整備	教育課	東児童館にことばの教室の機能を移転し、子育て支援拠点施設として運営するため、指導室等の改修工事を施工した。 ・職員玄関の改修一式 ・外廊下の改修一式 ・洗濯・沐浴室の改修一式 ・外構の改修一式 ・トイレの改修一式 ・創作活動室の改修一式 ・集会室の改修一式 ・渡り廊下の改修一式 ・遊戯室の改修一式 事業費35,376千円	実績無し	子育て支援拠点施設(すくすく)の漏水を改善するため屋上防水工事を施工した。事業費17,280千円	実績無し	小規模保育事業を行うため、保育室と調理室を整備した。事業費2,483千円	実績無し	A	1	低年齢児(1歳~3歳児)親子の1日あたりの利用者数	4.4組	8組	7.9組	9.9組	7.9組	7.9組	7.6組	9.4組	達成済	A
				(利用者数 1,886組 開所日数 240日)	(利用者数 2,379組 開所日数 240日)	(利用者数 1,876組 開所日数 238日)	(利用者数 1,806組 開所日数 229日)	(利用者数 1,463組 開所日数 193日)	(利用者数 1,540組 開所日数 165日)													

基本 目標	施策・事業内容										重要業績評価指標 (KPI)										
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績						創生本 部評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度		
3 若い世代の結婚や子育てを支援する環境づくり 出産・子育て支援の充実	1	一般不妊治療費助成	福祉保健課	28年4月開始に向けて、事業実施要綱を制定し予算化を行った。	件数:4件 助成額:78,000円	件数:2件 助成額:52,000円	件数:1件 助成額:33,000円	件数:0件	件数:0件	B 1	年間出生数 (各年度の4月1日から3月31日までの出生数)	40人	50人	38人	32人	48人	38人	46人	40人	未達成	B
	2	特定不妊治療費助成	福祉保健課	件数:2件 助成額:179,340円	件数:2件 助成額:200,000円	件数:9件 助成額:854,290円	件数:4件 助成額:394,992円	件数:2件 助成額:190,690円	件数:2件 助成額:127,770円												
	3	妊婦健康診査助成	福祉保健課	受診者(27年3月~28年2月):延474名 助成額:4,161,460円 ※一人当たり限度額:14回、119,650円	受診者(28年3月~29年2月):延394名 助成額:3,400,330円 ※一人当たり限度額:14回、119,650円	受診者(29年3月~30年2月委託料分):延536名 助成額:5,190,930円 ※一人当たり限度額:14回、129,470円 H29年度償還払い申請分:延39名 助成額:212,620円	受診者(30年3月~31年2月委託料分):延456名 助成額:4,444,130円 ※一人当たり限度額:14回、129,470円 H29年度償還払い申請分:延39名 助成額:212,620円	受診者(H31年3月~R2年2月委託料分):延577名 助成額:4,944,410円 償還払い申請者9名 助成額:363,380円 ※一人当たり限度額:14回、135,500円	受診者(R2年3月~R3年2月委託料分):延447名 助成額:4,566,490円 償還払い申請者2名 助成額:67,840円 ※一人当たり限度額:14回135,500円												
	4	新生児聴覚検査助成	福祉保健課	件数:38件 助成額:140,600円	件数:30件 助成額:110,600円	件数:42件 助成額:155,400円	件数:32件 助成額:118,000円	件数:43件 助成額:159,100円	件数:39件 助成額:144,300円												
	5	養育医療給付	福祉保健課	件数:2件 給付額:550,000円	件数:2件 給付額:105,995円	件数:2件 給付額:155,591円	件数:0件	件数:1件 給付額:60,940円	件数:1件 給付額:321,851円												
	6	福祉医療	福祉保健課	(未就学児) 件数:6,961件 助成額:11,823千円 (小学生~中学生) 件数:5,141件 助成額:12,044千円	(未就学児) 件数:6,795件 助成額:10,269千円 (小学生~中学生) 件数:5,589件 助成額:12,777千円	(未就学児) 件数:6,825件 助成額:11,080千円 (小学生~中学生) 件数:6,192件 助成額:14,337千円	(未就学児) 件数:7,116件 助成額:11,585千円 (小学生~中学生) 件数:6,236件 助成額:13,708千円	(未就学児) 件数:7,043件 助成額:13,722千円 (小学生~中学生) 件数:6,579件 助成額:15,052千円	(未就学児) 件数:4,753件 助成額:7,466千円 (小学生~中学生) 件数:5,139件 助成額:12,220千円												
	7	すこやか赤ちゃん誕生祝い事業	住民課	H27.4~H28.3の期間に38人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。	H28.4~H29.3の期間に32人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。	H29.4~H30.3の期間に48人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。	H30.4~H31.3の期間に38人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。	H31.4~R2.3の期間に46人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。	R2.4~R3.3の期間に40人の新生児の親に出生祝いの商品券を交付した。												
	8	第2子以降保育料減免	教育課	70人の児童について減免を決定した。	64人の児童について減免を決定した。	62人の児童について減免を決定した。	64人の児童について減免を決定した。	59人の児童について減免を決定した。	16人の児童について減免を決定した。無償化により、第3子以降に変更した												
	9	チャイルドシート購入補助	教育課	10件の申請に対して購入補助を行った。	8件の申請に対して購入補助を行った。	21件の申請に対して購入補助を行った。	12件の申請に対して購入補助を行った。	19件の申請に対して購入補助を行った。	27件の申請に対して購入補助を行った。												
	10	幼児2人乗り自転車レンタル	教育課	3台の車両をレンタルすることができた。	3台の車両をレンタルすることができた。	3台の車両をレンタルすることができた。	3台の車両をレンタルすることができた。	3台の車両をレンタルすることができた。	2台の車両をレンタルすることができた。												
	11	一時保育	教育課	延べ342人の子どもについて預かりを行った。	延べ424人の子どもについて預かりを行った。	延べ650人の子どもについて預かりを行った。	延べ960人の子どもについて預かりを行った。	延べ968人の子どもについて預かりを行った。	延べ958人の子どもについて預かりを行った。												
	12	コミママ子育てサポート	教育課	実績がなかった。	33件のサポートを行った。	73件のサポートを行った。	41件のサポートを行った。	30件のサポートを行った。	18件のサポートを行った。												
	13	学童保育(放課後児童クラブ)	教育課	小学生を対象に学童保育を264日開所した。	小学生を対象に学童保育を288日開所した。	小学生を対象に学童保育を284日開所した。	小学生を対象に学童保育を237日開所した。	小学生を対象に学童保育を253日開所した。	小学生を対象に学童保育を265日開所した。												
	14	入学祝い金	教育課	事業実施の検討を行った。	小学校入学祝い金支給要綱を策定し、H30年度入学予定者から支給予定	H30年度入学予定者62名に支給	H30年度入学予定者59名に支給	R2年度入学予定者68名に支給	R2年度入学予定者59名に支給												

基本 目標	施策・事業内容									重要業績評価指標 (KPI)											
	施 策	具体的な事業	担当課	事業実績						創生本 部評価	指 標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度			基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度		
3 若い世代の結婚や子育てを支援する環境づくり	出産・子育て支援の充実	15 奨学金の貸付	教育課	申込者6名 貸与者6名(大学生) 継続4名、新規2名	申込者7名 貸与者6名(大学生) 継続5名、新規1名	申込者4名 貸与者4名(大学生) 継続3名、新規1名	申込者3名 貸与者3名(大学生) 継続1名、新規2名	申込者3名 貸与者3名(大学生) 継続2名、新規1名	申込者5名 貸与者5名(大学生) 継続3名、新規2名	B 1	年間出生数 (各年度の4月1日から3月31日までの出生数)	40人	50人	38人	32人	48人	38人	46人	40人	未達成	B
		16 ALT(外国語指導助手)による英語指導	教育課	外国人講師の派遣 英語指導状況 富加小15時間/週 双葉中10時間/週 保育園2時間/月	外国人講師の派遣 英語指導状況 富加小15時間/週 双葉中10時間/週 保育園2時間/月	外国人講師の派遣 英語指導状況 富加小 3日/週 双葉中 2日/週 保育園 2日/月	ALTの雇用 英語指導状況 富加小 4.5日/週 双葉中 3日/週 保育園 0.5日/週 子ども向け英語講座	ALTの雇用 英語指導状況 富加小 4.5日/週 双葉中 3日/週 保育園 0.5日/週 子ども向け英語講座	ALTの雇用 英語指導状況 富加小 4.5日/週 双葉中 3日/週 保育園 0.5日/週 子ども向け英語講座												
		17 特色ある教育活動推進事業	教育課	富加小 宮城研修51名 サイエンスワールド 45名 双葉中 1年生宿泊研修:100 名	富加小 宮城研修48名 サイエンスワールド 43名 双葉中 1年生宿泊研修:89 名	富加小 宮城研修48名 サイエンスワールド 48名 双葉中 1年生宿泊研修:89 名	富加小 宮城研修60名 サイエンスワールド 60名 双葉中 1年生宿泊研修:96 名	富加小 宮城研修52名 双葉中 1年生宿泊研修:96 名 合唱交流会、研修事	富加小 ふるさと研修42名 双葉中 コミュニケーション力 向上事業 (1,2年生)207名												
		18 MT夢クラブ活動	教育課	スポーツ関係団体登録数64 文化活動関係団体登録数14 富加町民登録者数 スポーツ活動78名 文化活動3名	スポーツ関係団体登録数48 文化活動関係団体登録数13 富加町民登録者数 スポーツ活動87名 文化活動2名	スポーツ関係団体登録数47 文化活動関係団体登録数13 富加町民登録者数 スポーツ活動133名 文化活動5名	スポーツ関係団体登録数45 文化活動関係団体登録数9 富加町民登録者数 スポーツ活動177名 文化活動2名	スポーツ関係団体登録数44 文化活動関係団体登録数9 富加町民登録者数 スポーツ活動171名 文化活動1名	スポーツ関係団体登録数61 文化活動関係団体登録数8 富加町民登録者数 スポーツ活動111名 文化活動2名												

担当課及び富加町まち・ひと・しごと創生本部評価

富加町総合計画審議会評価

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

- A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
- B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
- C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
- D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

基本目標	施策・事業内容								重要業績評価指標(KPI)																						
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績					創生本部評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価											
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度	基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度										
4 安心して暮らせる安全なまちづくり	住民の健康保持と介護予防の推進	健康チャレンジ事業の推進	福祉保健課	平成27年度より開始した事業であるが、高齢者の参加が多かった。チャレンジカード30ポイント達成者し、3月22日までに町へ提出した者が延べ349人あった。	平成28年度は新規参加者も増加し、チャレンジカード30ポイント達成者が目標である500人を超えて延べ520人となった。	事業の周知がされてきており、参加者も順調に増加して、今年度は延べ605人となった。	本年度は、併せて県事業である清流の国ぎふ健康ポイント事業データヘルス推進にも参加できる形で実施した。延べ693人となった。	令和元年度も県の清流の国ぎふ健康ポイント事業に参加し、延べ925人となった。	県の清流の国ぎふ健康ポイント事業及び健康づくりチャレンジ月間にも参加し、延べ455人となった。	B	1	健康チャレンジカード30ポイント達成者数(年間延べ人数)	-	750人	349人	520人	605人	693人	926人	455人	未達成	B									
	地域防災力の強化	地域防災訓練の実施	総務課	H27.10.18に大平賀地区を対象とした防災訓練を実施した。同時に、職員の災害時参集訓練を実施した。	H28.10.16に加治田地区(片町、新町、上町、中町、下町)を対象とした防災訓練を実施した。	H29.10.15に夕田地区を対象とした土砂災害の防災訓練を実施した。	H30.10.14に高畑地区を対象とした地震災害の防災訓練・H30.10.21に新洞地区を対象とした土砂災害の防災訓練を実施した。	R1.10.20に大山・川小牧地区を対象とした防災訓練を実施した。	コロナ禍により総合防災訓練の実施を見送った。	B	1	地域防災訓練の実施数【累計】	10自治会	全23自治会	13自治会	18自治会	19自治会	21自治会	23自治会	23自治会	23自治会	達成済	B								
										2	総合防災訓練の実施	0回(令和元年10月)	1回							0回	未達成										
	空き家対策の推進	1	放置空き家の把握調査	建設課	空き家住宅又は建築物の現状を把握するため、給水停止情報や旧空家台帳(総務課)等を活用し調査した。	空き家住宅を把握するため、給水停止情報や家屋課税台帳、現地調査により台帳(情報記録簿)を整備した。	前年度の現地調査結果に基づき空家建物の所有者等にアンケートを実施し、今後の空家の管理や対応について調査した。	空家対策計画策定時の把握件数を元に現地調査等により実態の精査を行った。	前年度の精査調査を基に、特に危険な空家(3戸)については、建築士と目視による現地確認を行った。	前年度までの把握件数を基に、実態の精査を行った。特に危険な空家(2戸)については立入調査を実施し、空家対策協議会に諮問した。	A	1	放置空き家対策	空き家件数20件	放置空き家調査100%	空き家戸数の把握100%	空き家戸数の把握100%	空き家戸数の把握100%	空き家戸数の把握100%	空き家戸数の把握100%	空き家戸数の把握100%	達成済	A								
											2	利活用相談の体制づくり	建設課 総務課	他市町村の取り組み状況等、情報を収集し相談体制づくりについて研究・検討を行った。	他市町村の取り組み状況等、情報を収集し相談体制づくりについて研究・検討を行った。	空家等対策計画を策定した。その中で空家の利活用及び相談の計画を立てた。	町内不動産業者や各関係団体と空き家の対策に関する協定を締結した。また、空き家相談会を計4回行った。	空き家相談会を計2回開催した。また、空き家バンクへの登録及び利活用1件あった。	空き家相談会を計3回開催した(相談件数3件)。また、空き家バンクへの登録が2件あった。	A	2	利活用相談100%	相談体制の構築0%	相談体制の構築0%	相談体制の構築0%	相談体制の構築100%	相談体制の構築100%	相談体制の構築100%	相談体制の構築100%	達成済	A
																				3	空き家バンク物件登録件数	1件(令和元年10月)	2件							1件	3件
	社会基盤整備の推進	1	道路の舗装補修	建設課	井高、羽生、夕田地区(西組木船線、羽生60号線、夕田9号線)の舗装工事(L=0.83km)を行い、安全な道路整備を実施した。《平成27年度実施箇所》 ・西組木船線 L=0.44km ・羽生60号線 L=0.24km ・夕田9号線 L=0.15km	滝田、羽生、大平賀、加治田地区の舗装工事(L=1.66km)を行い、安全な道路整備を実施した。 《平成28年度実施箇所》 ・羽生44号L=0.11km ・羽生73号L=0.15km ・片町南洞L=0.19km ・大平賀33号L=0.22km ・滝田69号L=0.83km ・下組幅上L=0.16km	滝田、羽生地区の舗装工事(L=0.53km)を行い、安全な道路整備を実施した。 《平成29年度実施箇所》 ・滝田85号線 L=0.16km ・羽生80号線 L=0.27km ・羽生48号線 L=0.10km	羽生、高畑、大平賀、加治田地区の舗装工事(L=1.29km)を行い、安全な道路整備を実施した。 《平成30年度実施箇所》 ・羽生80号線 L=0.47km ・高畑32号・33号線 L=0.26km ・大平賀4号・46号線 L=0.35km ・加治田19号線 L=0.21km	滝田、羽生地区の舗装工事(L=0.59km)を行い、安全な道路整備を実施した。 《令和元年度実施箇所》 ・滝田45号線 L=0.10km ・羽生80号線 L=0.25km ・羽生72号線 L=0.24km	加治田、高畑、川小牧、羽生地区の舗装工事(L=0.76km)を行い、安全な道路整備を実施した。 《令和2年度実施箇所》 ・羽生70号L=0.12km ・加治田56号 L=0.12km ・加治田7号L=0.01km ・高畑25号L=0.05km ・夕田10号法定外道路L=0.12km ・夕田24号L=0.13km ・加治田96号 L=0.03km ・羽生1号 L=0.18km	B	1	舗装補修する道路延長【累計】	2.4km	10.0km	3路線を舗装補修L=3.23km(整備率)(32.3%)	整備延長(6路線)L=1.66km 整備済延長L=4.89km(整備率)(48.9%)	整備延長(3路線)L=0.53km 整備済延長L=5.42km(整備率)(54.2%)	整備延長(6路線)L=1.29km 整備済延長L=6.71km(整備率)(67.1%)	整備延長(3路線)L=0.59km 整備済延長L=7.30km(整備率)(73.0%)	整備延長(8路線)L=0.76km 整備済延長L=8.06km(整備率)(80.6%)	未達成	B								
											2	道路橋の補修	建設課	加治田、大平賀地区(轟橋、日焼田橋、新大橋)の橋梁補修工事(N=3橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。《平成27年度実施箇所》 ・轟橋(L=24.8m) N=1橋 ・日焼田橋(L=7.5m) N=1橋 ・新大橋(L=23.0m) N=1橋	高畑地区(稲荷橋)の橋梁補修工事(N=1橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。 《平成28年度実施箇所》 ・稲荷橋(L=17.0m) N=1橋	加治田地区(中央橋)の橋梁補修工事(N=1橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。 《平成29年度実施箇所》 ・中央橋(L=24.7m) N=1橋	加治田地区(絹丸橋)、羽生地区(羽生橋、向井橋)の橋梁補修工事(N=3橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。 《平成30年度実施箇所》 ・絹丸橋(L=34.0m) N=1橋 ・羽生橋(L=17.1m) N=1橋 ※向井橋は、部分完成のため未計上	羽生地区(向井橋)の橋梁補修工事(N=1橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。 《令和元年度実施箇所》 ・向井橋(L=17.1m) N=1橋	高畑地区(春日橋)の橋梁補修工事(N=1橋)を行い、安全な橋梁整備を実施した。 《令和2年度実施箇所》 ・春日橋(L=17.1m) N=1橋	B	2	補修する道路橋の数【累計】	2橋	17橋	3橋を橋梁補修 N=5橋(整備率)(29.4%)	補修橋梁 N=1橋 補修済橋梁 N=6橋(整備率)(35.3%)	橋梁補修 N=1橋 補修済橋梁 N=7橋(整備率)(41.2%)	橋梁補修 N=2橋 補修済橋梁 N=13橋(補修済 N=9橋 整備率)(76.5%)	橋梁補修 N=1橋 補修済橋梁 N=14橋(補修済 N=10橋 整備率)(82.4%)	橋梁補修 N=1橋 補修済橋梁 N=15橋(補修済 N=11橋 整備率)(88.2%)	未達成

基本目標	施策・事業内容								重要業績評価指標(KPI)												
	施策	具体的な事業	担当課	事業実績					創生本部評価	指標	指標値		実績値						KPIの達成状況	審議会評価	
				27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度	基準値	令和2年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度			R2年度
4 安心して暮らせる安全なまちづくり	社会基盤整備の推進	3 配水管の更新	建設課	井高地区配水管布設替工事(HPPEφ100 L=453m)、下滝田地区配水管布設替工事(HPPEφ50~75 L=186m)、夕田配水池流入等機器更新工事(流入制御弁N=1基)を行い、安定した水供給の整備に努めた。	羽生地内配水管更新(第1期)工事(HPPEφ100 L=514m、HPPEφ75 L=41.8m、HPPEφ50 L=5.3m)、町屋配水管更新工事(HPPEφ100 L=436m)を行い、安定した水供給の整備に努めた。	羽生配水管更新(第2期)工事(HPPEφ100 L=493m、HPPEφ75 L=28m)、片町配水管更新工事(HPPEφ100 L=547m、φ75 L=46m)、長峰配水管更新工事(HPPEφ75 L=188m)等を行い、安定した水供給の整備に努めた。	川小牧配水管更新(第1期)工事(HPPEφ100 L=374m、HPPEφ75 L=5m、HPPEφ50 L=16m)、井高・大山配水管更新工事(HPPEφ150 L=403m、φ100 L=7m、φ50 L=20m)等を行い、安定した水供給の整備に努めた。	川小牧配水管更新(第2期)工事(HPPEφ100 L=515m)、井高・大山配水管更新(第2期)工事(HPPEφ150 L=403m、φ100 L=7m、φ50 L=20m)等を行い、安定した水供給の整備に努めた。	羽生地内配水管更新工事(DIP(GX)φ200 L=274.3m)、滝田地区配水管更新工事(DIP(GX)φ200 L=474m)等を行い、安定した水供給の整備に努めた。	A	3 更新する配水管延長【累計】	1.9km	7.4km	2.5km (進捗率 37.3%)	3.5km (進捗率 52.2%)	5.0km (進捗率 74.6%)	6.1km (進捗率 91.0%)	7.0km (進捗率 104.4%)	7.7km (進捗率 114.9%)	達成済	A
	進捗率は変更前の令和元年度指標値(6.7km)に対する割合																				
		1 歩道整備	建設課 教育課	大山地区(西組木船線)において、通学路交通安全プログラムに位置づけ、小中学校の通学路(大山、大平賀、川小牧地区)の安全対策として、歩道の整備計画(L=1.3km)の策定を実施した。	大山地区(西組木船線)において、詳細設計(L=0.49km)の業務を実施した。また、地元説明会(大山自治会)を2回実施した。	大山地区(西組木船線)において、用地測量及び建物補償の業務を実施した。また、地元説明会(大山自治会)を1回実施した。	大山地区(西組木船線)において、用地取得及び建物補償の契約を締結をした。 ・用地取得 13件 ・建物補償 2件	大山地区(西組木船線)において、電柱移転補償の契約を締結をした。 ・電柱移転補償 2件	大山地区(西組木船線)において、電柱移転補償の契約を締結をした。また、先行して水路移設工事に着手した。 ・電柱移転補償 2件 ・水路移設工事 L=0.24km	C	1 歩道の整備延長【累計】	-	1.3km	大山地区の詳細設計(L=0.49km)の予算要望を行った。	詳細設計(L=0.49km)の実施	用地測量及び物件調査の実施	用地取得・建物補償契約の締結	電柱移転補償契約の締結	電柱移転補償契約の締結 水路移設工事の実施	未達成	C
	通学路の交通安全対策	2 道路のカラー舗装	建設課 教育課	下滝田、夕田地区(下組幅上線、大山石原線、金塚南洞線)において、路側帯のカラー舗装等(L=0.55km)を行い、通学路を明確化し、小中学校の通学路(下滝田、夕田、大山、大平賀、川小牧地区)の安全対策を工事を実施した。 《平成27年度実施箇所》 ・下組幅上線 L=0.21km ・金塚南洞線 L=0.29km ・大山石原線 L=0.05km	羽生、高畑、加治田地区において、路側帯のカラー舗装等(L=0.32km)を行い、通学路を明確化し、小中学校の通学路の安全対策工事を実施した。 《平成28年度実施箇所》 ・井ノ上蓮野線 L=0.25km ・稻荷北野線 L=0.07km	滝田・羽生・夕田・大山・加治田地区において、路側帯のカラー舗装等(L=2.64km)を行い、通学路を明確化し、小中学校の通学路の安全対策工事を実施した。 《平成29年度実施箇所》 ・井ノ上片町線 L=0.40km ・羽生77号・85号線 L=0.22km ・大山6号線L=0.22km ・焼屋南坂線L=0.57km ・金塚南洞線L=0.50km ・加治田120号線 L=0.24km ・羽生5号線L=0.08km ・滝田八反田線 L=0.41km	滝田・羽生地内において、交差点及び路側帯のカラー舗装(L=0.13km)を行い、通学路を明確化し、小中学校の通学路の安全対策工事を実施した。 《令和元年度実施箇所》 ・井ノ上片町線 L=0.04km	加治田地区において、路側帯のカラー舗装(L=0.04km)を行い、通学路を明確化し、小中学校の通学路の安全対策工事を実施した。	整備を完了した。	A	2 道路のカラー舗装延長【累計】	1.5km	7.0km	整備延長 L=0.55km 整備済延長 L=2.0km (整備率) (29.2%)	整備延長 L=0.32km 整備済延長 L=2.37km (整備率) (33.9%)	整備延長 L=2.64km 整備済延長 L=5.01km (整備率) (71.6%)	整備延長 L=0.13km 整備済延長 L=6.94km (整備済延長 L=5.14km 他事業調整区間 L=1.8km) (整備率) (99.1%)	整備延長 L=0.04km 整備済延長 L=6.98km (整備率) (99.7%)	整備完了 整備済延長 L=6.98km 整備不要 L=0.02km (整備率) (100%)	達成済	A

担当課及び富加町まち・ひと・しごと創生本部評価

富加町総合計画審議会評価

A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった

A: KPIの達成に向けて事業を推進し、十分な成果があった
B: KPIの達成に向けて事業を推進し、成果があった
C: KPIの達成に向けて事業を推進したが、成果が不十分だった
D: KPIの達成に向けての事業推進が不十分であった